

今知ってほしい！中津川市の文化スポーツ施設の現状と課題

皆さんは公民館や体育館などを利用したことはありませんか。これらの施設は、市民の学びや活動の場であり「文化スポーツ施設」と呼んでいます。

文化スポーツ施設は、地域活動やまちづくりなどの拠点としても活用されているため、どなたにとっても身近で大事な施設といえます。ここでは、そんな文化スポーツ施設の現状や課題についてお知らせします。



1 文化スポーツ施設の種類

1) 当市には文化スポーツ施設が85施設あります。それらの種類と概要は次の表のとおりです。

施設区分	公民館	文化施設	スポーツ施設	学校開放施設
施設数	13館（各地区1館）	4施設	41施設	27施設
目的役割	各地区1カ所設置 生涯学習活動の推進 公民館講座の実施 地域活動の拠点	文化活動の振興 コンサートの実施 演劇・歌舞伎の公演 映画上映	スポーツ活動の振興 体力と健康の増進 競技大会の実施 イベントの開催	学校の未使用時に 市民へ貸出 地域行事の開催
施設内容	ホール、会議室、和室 調理実習室など	文化ホール、会議室 芝居小屋など	体育館、武道場、野球場 テニスコート、プール、 グラウンドなど	体育館、グラウンド など

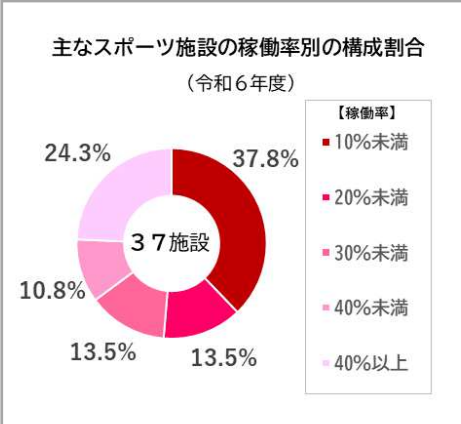
※ここでは、図書館、博物館等は対象から除きます

2 文化スポーツ施設の使用状況（稼働率）

1) 最も数が多いのはスポーツ施設です。そのうち主なスポーツ施設の使用状況（稼働率）は次の表のとおりです。主な施設の約4割が稼働率10%未満であり、全体として稼働率が低い状況です。

施設種別	施設数	稼働率				
		10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	40%以上
グラウンド	10	6	2	2		
屋内運動場	9	1		2		6
武道場	9	5	2		2	
野球場	2				2	
陸上競技場	1					1
テニスコート	6	2	1	1		2
合計	37	14	5	5	4	9

※馬籠総合グラウンド、馬籠ふるさと学校を除く集計です



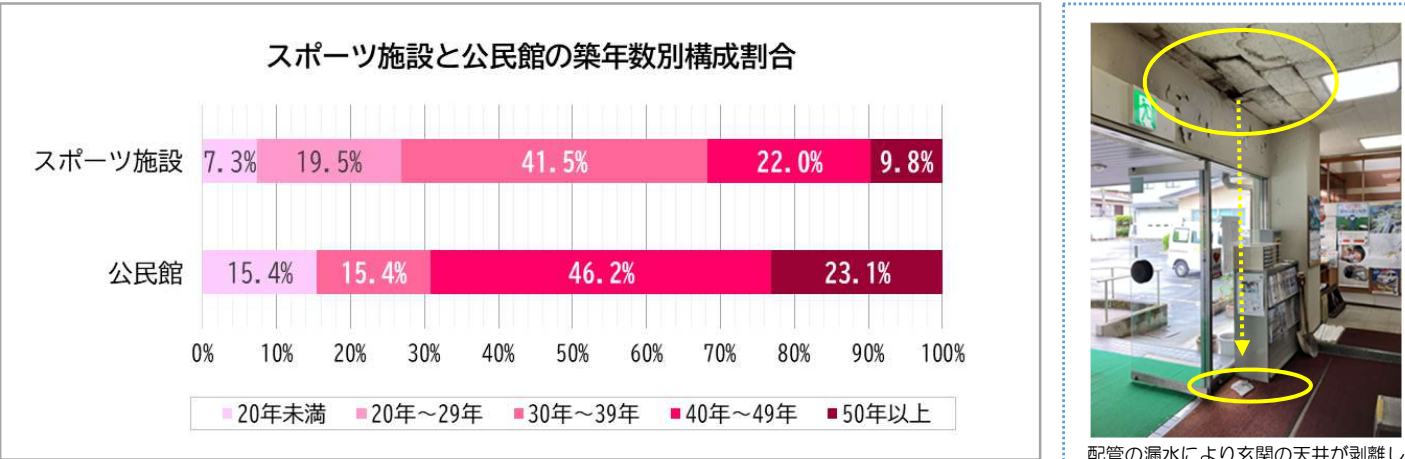
3 使用料収入と維持管理費とのギャップ

- 施設の維持管理には人件費、光熱水費、修繕費、委託料、備品などが必要です。近年の物価高や人件費の高騰により、施設の維持管理費も年々高くなっています。
- 一方で、文化スポーツ施設における毎年の使用料収入は、維持管理費の7%程度で推移しています。



4 持続可能な施設運営のために

- 当市には、建設されてから30年以上経過している文化スポーツ施設が多くあり、スポーツ施設の約7割、公民館の約8割を占めています。



配管の漏水により玄関の天井が剥離し、落下した事例（現在は復旧済み）

- 文化スポーツ施設は全体的に老朽化が進んでおり、多くの施設で修繕が必要な状況です。

文化スポーツ施設は、日々多くの方が集い、地域のにぎわいや人づくりのために活動している場所です。この施設を皆さんに安全で快適に利用していただくため、また持続可能なものにするためにどうすればいいのか、みんなで考える時期に来ています。